

# 「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 6 月 30 日

事業名称		ごみ減量推進事業費 [ ごみ減量推進事業 ]						
予算科目	款 4	衛生費	項 2	清掃費	目 1	清掃総務費	事業番号	3
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)							
担当部署・課長名	ごみ対策		課	ごみ減量	係	課長名	中山 仁	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	4 - 7	
【施策名】 ごみの減量とリサイクル推進						総合計画書(ページ)	97	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)				
	ごみや資源物を排出する市民 →			人口(10月1日現在)				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)				
①ごみの減量 ②リサイクルの推進 →			①市民1人1日当たりの排出量 (総排出量/人口/年間日数×1,000,000) ②リサイクル率					
③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)					
ごみや資源物の再資源化 →			資源化総量					
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標	
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標
	対象指標	①の数値	人	85,860	85,534	85,277		
	成果指標	②の数値	①g ②%	① 670.4 ② 36.6	① 663.0 ② 36.7	① 674.3 ② 34.9		
	目 標	②の目標値		680.0	674	668	662	656
目標値設定の考え方 廃棄物の行政回収量について評価を行う。								
活動指標	③の数値	トン	7,692	7,601	7,350			
3 経費	事業費(実績)		円	73,573,403	75,585,015	28,171,031	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	財源	一般財源	円	38,396,782	48,334,154	20,174,187		
		特定財源	円	35,176,621	27,250,861	7,996,844		
		(うち受益者負担)	円	24,167,195	20,647,218	7,996,844		
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	4.0	5.0	5.0		
		所要人数(再任用)	人					
		職員人件費(再任用以外)	円	33,012,000	41,220,000	41,550,000		
職員人件費(再任用)	円							
事業費+人件費		円	106,585,403	116,805,015	69,721,031			
4 環境変化等	(1) 開始年度		昭和29年度					
	(2) 環境の変化		平成26年 8月：収集体制の変更・一部戸別回収の実施 平成26年10月：家庭廃棄物の有料化を導入 平成31年 4月：小平・村山・大和衛生組合 資源物中間処理施設が稼働開始した。 平成31年 10月：食品ロスの削減の推進に関する法律が施行された。					

事業名称	ごみ減量推進事業費 [ ごみ減量推進事業 ]			
担当部署・課長名	ごみ対策	課	ごみ減量	係 課長名 中山 仁

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 平成26年8月1日から実施した戸別収集については、可燃ごみ・不燃ごみ・容器包装プラスチックとなっており、資源物はステーション式であることから、資源物についての戸別収集が望まれている。また、排出が困難な高齢者からの要望もある。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ <input type="checkbox"/> 取り組まない	取組手法：③④⑤⑥ 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体： ) ⑦後援・場の提供 ⑧その他( )		
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容(「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記) ごみの排出量が多く、リサイクルを推進していく余地が大きい。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 ・市内のセブン-イレブン全店舗でのペットボトル自動回収機を活用したペットボトル回収事業の実施 ・使い捨てコンタクトレンズ空ケースの回収事業の実施			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) 民間事業者と連携した新たな減量施策の実施			
8	施策貢献状況(この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。) 施策名：ごみの減量とリサイクル推進 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名： )			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など) <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 更なるごみ減量施策の推進。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 ・民間事業者が行っているリサイクル事業の把握と、その事業について市と連携し、または市が導入できるかの検討。			